

『カルメン』に続く藤原歌劇団オペラ公演第2弾

愛するがゆえの過ち。誰も無傷では終わらない。神のみぞ知る、悲劇の結末。

## 藤原歌劇団公演

## ナヴァラの娘

日本初演

マスネ作曲 オペラ全2幕 J. Massenet : LA NAVARRAISE Opera in 2 Acts in Original Language

## 道化師

レオンカヴァッロ作曲 オペラ全2幕 R. Leoncavallo : I PAGLIACCI Opera in 2 Acts in Original Language

ニュープロダクション



2017年2月に「カルメン」愛知初公演で反響を呼んだ日本でも最も歴史のあるオペラ団体・藤原歌劇団が日本初演を含むヴェリズモ・オペラ2作品を上演!

藤原歌劇団公演『カルメン』より

指揮／柴田真郁 *Maike SHIBATA*演出／マルコ・ガンディーニ *Marco GANDINI*総監督／折江忠道 *Tadamichi ORIE*

## ナヴァラの娘

## 道化師

アンタ <i>Anita</i>	小林厚子 <i>Atsuko KOBAYASHI</i>	ガリード <i>Garrido</i>	田中大揮 <i>Taiki TANAKA</i>	カニオ <i>Canio</i>	笹田博昭 <i>Hironori FUEDA</i>	ベッペ <i>Peppino</i>	所谷直生 <i>Naoki TOKORODANI</i>
アラキル <i>Araquil</i>	小山陽二郎 <i>Yojiro OYAMA</i>	ラモン <i>Ramon</i>	松岡幸太 <i>Kota MATSUOKA</i>	ネッタ <i>Nedda</i>	砂川涼子 <i>Ryoko SUNAKAWA</i>	シルヴィオ <i>Silvio</i>	森口賢二 <i>Kenji MORIGUCHI</i>
レミージョ <i>Remigio</i>	坂本伸司 <i>Shinji SAKAMOTO</i>	ブスタメンテ <i>Bustamante</i>	安東玄人 <i>Gento ANDO</i>	トニオ <i>Tonio</i>	牧野正人 <i>Masato MAKINO</i>		

合唱：藤原歌劇団合唱部 *Fujiwara Opera Chorus Group*児童合唱：多摩ファミリーシンガーズ *Tama Family Singers*管弦楽：セントラル愛知交響楽団 *Central Aichi Symphony Orchestra*

2018年2月4日(日) 14:00 愛知県芸術劇場大ホール

[開場13:00] \*13:15から作品解説をいたします。上演時間：約2時間30分 &lt;字幕付き原語上演&gt;

## TICKET

S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000

D¥3,000(税込)

◆ヤング・フレッシュマンチケット(25歳以下/枚数限定): A~C席は半額

◆障がい者割引(要お問合せ/枚数限定): S~B席は20%割引

\*特別割引につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターのみで取り扱います。詳細はお問い合わせください。

## ●お問い合わせ・予約

●日本オペラ振興会チケットセンター  
03-6721-0874(平日10:00~18:00) <https://www.jof.or.jp>

## ●チケット販売所

●愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス  
<http://www.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai/>  
●愛知芸術文化センター内プレイガイド 052-972-0430  
(平日10:00~19:00 土日祝休10:00~18:00/月曜定休・祝休日の場合は翌平日、年末年始休12/28~1/3)  
●チケットぴあ <http://t.pia.jp> 0570-02-9999(Pコード:340-240)

■主催：公益財団法人日本オペラ振興会/愛知県芸術劇場

■協賛：NPO法人イエロー・エンジェル/イオンモール株式会社/株式会社イノアックコーポレーション/オムロン株式会社  
ダイドー株式会社/東海東京証券株式会社/トヨタ自動車株式会社/中西電機工業株式会社

# ナヴァラの娘 & 道化師

J.Massenet : LA NAVARRAISE Opera in 2 Acts in Original Language

R.Leoncavallo : I PAGLIACCI Opera in 2 Acts in Original Language



「ナヴァラの娘」は理不尽な持参金を作るために  
「道化師」は年の離れた妻の裏切りに  
その両手を血に染める

～マスネとレオンカヴァッロによるヴェリズモ・オペラの競演～

2018年、藤原歌劇団はフランスの作曲家、マスネがスペインを舞台に貧しい娘の途な恋の悲しい結末を描いた「ナヴァラの娘」と、イタリアの作曲家レオンカヴァッロの「道化師」をお届けいたします。日本初演となる「ナヴァラの娘」はマスネの「カヴァレリア・ルスティカーナ」とも言われる彼唯一のヴェリズモ・オペラで、当団では敢えて「道化師」とのダブル・ビルを企画いたしました。

「ナヴァラの娘」は、主役アニタを安定した歌唱で定評のある小林厚子、恋人アラキルを舞台経験の豊富な小山陽二郎が演じます。また二人の仲を裂こうとするアラキルの父レミージョに坂本伸司、物語のキーパーソンであるガリードには田中大揮が挑戦します。

「道化師」で主役カニオを演じるのは、藤原歌劇団のトップテナーに躍り出た笛田博昭。ドラマティックなこの役を彼がどう演じるかに是非ご注目ください。若く美しい妻ネッダ役には、日本を代表するソプラノのひとり砂川涼子。プロローグで有名な口上を述べるトニオにヴェテランの牧野正人が出演します。

指揮は柴田真郁。管弦楽はセントラル愛知交響楽団。合唱は藤原歌劇団合唱部。そして藤原歌劇団公演には2012年の「フィガロの結婚」以来の登場となるイタリアのマルコ・ガンディーニの演出に期待が高まります。

## STORY

### マスネ「ナヴァラの娘」

時は1876年のスペイン。カルロス4世の世継ぎに端を発したカルリスタ戦争は、40年経った今も、立憲君主制支持者と、伝統的な絶対君主制の復活を願うカルリスタとの間の衝突が続いている。立憲君主制支持者軍の司令官、ガリードがビルバオの街をカルリスタに占拠された戦況を嘆いていると、そこに恋人アラキルを探しに天涯孤独の娘アニタが現れる。

戦場から戻ったアラキルとアニタは再会を喜び合うが、それもつかの間、アラキルの父親レミージョは、よそ者で素性も知れぬ娘を息子から遠ざけるために「息子と結婚したいのなら2000ドゥロスの持参金を払え」と言う。途方にくれるアニタの耳に「カルリスタの司令官ズッカーガを殺害する勇気のある者はいないのか」というガリードの言葉が聞こえる。彼女は報奨金と引き換えにズッカーガを殺して来ることを約束する。ガリードは「このことは一生秘密にする」と約束した上で、彼女に名前を尋ねる。アニタは「私に名前などない。ただのナヴァラの娘 (La Navarraise)」と答える。彼女が敵陣に一人乗り込んでいったと聞いたアラキルは、アニタがスパイだったのではないかと疑いつつも、彼女を連れ戻すために後を追う。

夜想曲 (ノクターン) が流れたのち、舞台はその翌朝となる。ズッカーガを刺殺して戻って来たアニタが、ガリードから2000ドゥロスを受け取り、これでアラキルと結婚できると喜んでいるところに、当のアラキルが瀕死の重傷を負って担ぎ込まれて来る。彼は「お前はズッカーガの情婦なのではないか」とアニタを問い詰めるが、彼女は持参金を得るために人殺しをしたとは口にはできない。そこに敵陣からの吊いの鐘の音が聞こえて来る。アニタが何をしたのかを理解するアラキルだが、その直後彼は息絶える。悲しみのあまり正気を失ったアニタの笑い声だけがその場に響き渡る。

### レオンカヴァッロ「道化師」

南イタリア、カラブリア地方のとある町に、カニオ率いる旅芝居の一座がやってくる。背中にコブのある醜いトニオは、カニオの若い妻ネッダに言い寄るが、彼女に手酷く追い払われる。彼は仕返しを誓う。そこにネッダの若い恋人シルヴィオが現れ、彼女と熱い抱擁をかわす。物陰からそれを見ていたトニオはカニオに告げ口をする。二人が今夜駆け落ちすることを約束する様子を見たカニオは、芝居の役柄である道化師 (パリアッチョ) と我が身を重ね合わせて自嘲する。

芝居が始まる。道化師の妻を演じるネッダの「今夜ね。そうすれば私は永遠にあなたのものよ」というセリフにカニオは芝居と現実の見境がつかなくなる。そしてカニオは、ネッダと、飛び出して来たシルヴィオを舞台上で刺し殺す。そして驚きざわめく観客たちに、「これにて喜劇は終わりでございます」と告げられるところで、幕は下りる。

## STAFF

合唱指揮：須藤桂司  
美術：イタロ・グラッシ  
衣裳：シモーナ・モッレージ  
照明：奥畑康夫  
舞台監督：斎藤美穂  
副指揮：諸遊耕史、鬼原良尚  
演出助手：堀岡佐知子



指揮/柴田真郁



演出/マルコ・ガンディーニ

## ナヴァラの娘



小林厚子



小山陽二郎



坂本伸司



田中大揮



松岡幸太



安東玄人

## 道化師



笛田博昭



砂川涼子



牧野正人



所谷直生



森口賢二

東京公演も  
好評  
発売中!!

2018年  
1月27日(土)・28日(日) 14:00  
東京文化会館大ホール

指揮：柴田真郁 演出：マルコ・ガンディーニ

### 「ナヴァラの娘」

アニタ：小林厚子/西本真子 アラキル：小山陽二郎/持木 弘 レミージョ：坂本伸司/大塚雄太  
ガリード：田中大揮/村田孝高 ラモン：松岡幸太 プスタメンテ：安東玄人

### 「道化師」

カニオ：笛田博昭/藤田卓也 ネッダ：砂川涼子/佐藤康子 トニオ：牧野正人/須藤慎吾  
ベッペ：所谷直生/澤崎一了 シルヴィオ：森口賢二/岡 昭宏

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

S¥14,800 A¥12,800 B¥9,800 C¥8,800 D¥6,800 E¥2,500(税込)  
お問い合わせ：日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

## 童謡コーラスは、藤原歌劇団のオペラ公演を応援しています!

全国 700団体 30,000名を超える童謡コーラスは、地域の生涯学習活動として、童謡や唱歌、ラジオ歌謡からロシア民謡まで思い出の名曲を大合唱。笑い声と歌声がいっぱいのみんなの合唱団です! 中部名古屋地域でも歌仲間募集中です! 0120-104-315